

PD313
9.0
K

D-71-管調資-No.15

各国事情のしおり

—トルコ編—

1972・1

海外技術協力事業団

JICA

314

20

EX

BRARY

国際協力事業団

受入 月日	'87. 4. 22	3/4
登録 No.	08481	20
		EX

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料としてトルコ国に派遣されている水産教育専門家鈴木達三氏からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任される専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和47年1月

海外技術協力事業団

理事長 田 付 景 一

JICA LIBRARY



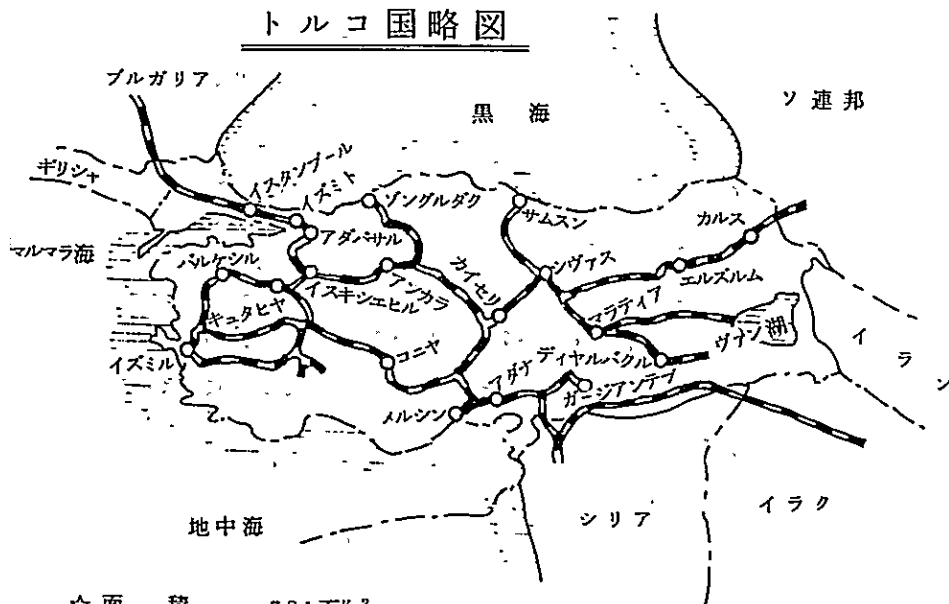
1050881[0]

海外技術協力事業団	
受人	PD313
月日	9.0
登録No	1875
	K

目 次

I 任国事情	2
1. 住宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器・備品）	2
2. 食品（食料事情、価格、外食、その他）	5
3. 衣類、日用品	9
4. 使用人	10
5. 医療（医療事情、医薬品、疾病の種類、健康管理）	12
6. 子弟の教育機関（教育制度、教育機関）	14
7. 娯楽設備（保養地等、余暇、日本人クラブ）	16
8. 電 力	16
9. 交通（交通事情、タクシー、ハイヤー、自動車購入、 運転免許）	17
10. 為替（相場、滞在費受取方法）	20
11. 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザ手続等）	21
12. 便宜供与（種類、カウンターパート、免税特権）	23
13. 通信・運輸	24
14. 言語（公用語、英語等の普及度、語学学習）	25
15. 気 候	26
16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法）	27
17. その他（対日感情、新聞・雑誌等、風俗・習慣、 理髪・美容、クリーニング、買物、 今後赴任される専門家に望むこと）	28
II 同国に対する我国の技術協力実績	36
III 大使館連絡先	37

トルコ国略図



☆面積	78.1万Km ²
☆人口	3,438万人(1969年)
☆首都	アンカラ
☆通貨単位	トルコリラ(L.T.) = 24円
☆宗教	回教
☆教育	義務教育5年制(小学校)
☆公用語	トルコ語
☆住民	トルコ人、クルド人

人口の%以上が農業に従事し、農産物が輸出所得の80%を占める圧倒的な農業国である。工業化政策は、国営企業を中心に1962年から実施された第一次5カ年計画、1968年から実施された第2次5カ年計画のもとにおこなわれているが、資材購入、国防支出などで国際収支は慢性的赤字である。

経済開発第2次5カ年計画(1968~1972年)

- ・ 農民の生活水準の向上
- ・ 輸入代替生産の促進

I 任国事情

1. 住 宅

(イ) 住宅事情

- ① エージェントの有無
有り。

ただ貸家の前に賃借札が下っているため、直接家主と交渉して決める場合が多い。この方がエージェントに依頼するより有利である。

- ② 入手の難易度
希望家屋にもよるが、一般に容易である。

③ 賃借方法

普通1カ年を基準として契約する。

契約更新も1カ年づつとなるから、契約にあたっては専門家の滞在期間を考えて充分注意すること。

入居時には契約と同時に前家賃を支払うのが原則であるが、ときには2～4カ月分の家賃を要求されることもある。

(ロ) 家 賃（イスタンブール基準）

家賃は派遣地域（イスタンブール、アンカラ、イズミール）により多少の差はあるが大体次の通りである。

① 独身者

アパート型式、ベントルーム2、サロン1、キッチン付食堂、トイレット付シャワールーム、家具なし。

必ず特別水槽のあるアパートを選ぶこと。

1,200～1,500 L.T.

② 家族2人

アパート型式、ベッドルーム3、サロン1、キッチン付食堂、
浴槽・シャワー、トイレット。

中級(家具なし) 1,500～2,000 L.T.

上級(") 2,000～2,500 "

③ 家族4人

アパート型式、ベッドルーム4、サロン1、キッチン付食堂、
浴槽・シャワー、トイレット。

中級(家具なし) 2,000～2,500 L.T.

上級(") 2,800～4,000 "

(b) ホテル

① 短期滞在のホテル

		Park Hotel (上の中級)	Geji Hotel (中級下)
泊	シングル	130～160 L.T.	87,103,150 L.T.
	ダブル	160～200 "	138～184 "
	エキストラベット	1個追加毎に30 "	1個追加毎に35 "
		サービス料 15%	
食	朝	12.50 L.T.	11.50 L.T.
	昼, 夜	40 "	なし
事		サービス料 15%	税金 10%
		税金 10%	

② 長期滞在のホテル、マンション

特に格安で便利なホテル、マンションはない。

下宿は食事の点で難点があるので普通間借りになる場合が多い。

(二) 什器・備品

一般に長期専門家がアパートを借りる場合、家具は備わっていないので、すべて自分で購入しなければならない。

① 携行を必要とする食器類等

日本式の食器、箸、お碗は当地にはないが、洋食器類は入手可能である。ただし接客用の陶器類は、価格、品質等からみて、日本から持参することをすすめる。

② 入居当初必要とする経費

品名	数量	価格	備考
冷蔵庫(360ℓ)	1	5,000 L.T.	大型を必要とする
天火付 ガスレンジ(中型)	1	2,000 "	ボンベ2本含
食卓(")	1	2,500 "	椅子5個付、接客用を兼ねる
食器棚(")	1	1,000 "	
応接台	1	4,000 "	アームチェア付5人用椅子共
ベット(大人用)	3	2,500 "	
机(勉強用)(中型)	1	1,000 "	椅子2個付
じゅうたん(中型)	3	7,000 "	帰国時に持帰るとよい
カ - テン	1枚	2,500 "	レールを含む

なお冬期には毛布を1人3枚(1枚200L.T)位は必要である。

上記物品を日本から持参する場合でも特に免税特権はなく現地で購入した方が便利である。

2. 食 品

(1) 食料事情

① 一般的食料事情

食料は非常に豊富である。

特に野菜、果物類は日本より豊富であるし、品も良い。当地にない野菜は白菜、大根、蓮、サツマイモくらいである。

② 日本食品の入手状況

日本特有の食料品、味噌、醤油、わさび、生姜等は当地では販売されていない。(日本から直接取り寄せるかベイルートで入手する)

大豆も入手困難である。その他の主食品は簡単に入手可能である。

白米等も充分吟味して購入すれば、日本米程度のものが入手できる。

③ 水、燃料等

水……………水は全般的にカルシウム分が多く、水道の水を直接飲料水として使用することは稀である。(特に外国人は)

地域によっては水道水を沸かして使用すること

もある。

現地語でイースーというのは“良き水”という
意味で、普通これを水屋から買って飲用してい
る。

燃料……… 調理用、浴用は都市ガスかプロパンガスが使用
されている。

調理器具… ナベ、カマ、包丁類も一応入手できるが特に刺
身包丁とマナ板は日本から持参することをすす
める。

調味料…… 味噌、醤油は入手不可能であるが、その他味の
素、ソース、カレー粉、生姜、わさび、海草（ノ
リ、ワカメ、ヒジキ）、塩昆布、茶、大豆等も
入手困難であるため、日本から持参するか、あ
るいは取寄せた方が良い。

④ 日本食レストランの有無

皆無であるが、中国レストランがイスタンブール、アンカ
ラに一軒づつある。何れも不味く、やむをえず利用してい
る現状である。

この国の料理（特に市中レストランに並べられているもの）
はオリーブ油で長時間にわたって煮込んであるものが多く、
魚の料理も少ないということと、羊の肉をつかった料理が
大部分であるということから日本人の口には合わないが、
同じ材料で日本式に料理すれば結構美味しく食べられる。
単身赴任者は別として食事ではさほど心配する必要はない。

赴任時日本独特の調味料を滞在期間を通じて間に合うだけ持参することをすすめる。

またトルコ独特の食物であるヨーグルト、乳製品等を充分利用すると良い。

(四) 価 格

(L.T. = 24円)

品 名	数 量	金 額
米 (トルコ米)	1 キロ	4 ~ 6 L.T
パ ン		1.25 "
肉 豚	1 キロ	27 ~ 30 "
牛	"	20 ~ 30 "
卵	1 個	0.65 "
野菜 ナ ス	1 キロ	2.50 ~ 4 "
キ ウ リ	"	3 ~ 5 "
ジャガイモ	"	2 ~ 3 "
ト マ ト	"	3.50 ~ 6 "
キャベツ	"	3 ~ 5 "
インゲンマメ	"	4 ~ 7 "
人 参	"	3 ~ 8 "
玉 ネ ギ	"	1.50 ~ 3 "
カボチャ	"	3 ~ 5 "
果物 レ モ ン	"	6 ~ 8 "
ネーブル	"	3 ~ 5 "
ミカ ン	"	4 ~ 6 "

品名	数量	金額
スイカ,メロン	1キロ	3 ~ 7 L.T
イチゴ	"	4 ~ 6 "
サクランボ	"	6 ~ 10 "
モモ	"	3 ~ 6 "
ブドウ	"	3 ~ 7 "
魚		
メカジキ	"	60 ~ 70 "
スズキ	"	50 ~ 60 "
エビ	"	35 ~ 45 "
タイ	"	30 ~ 50 "
ブルーフィッシュ	"	8 ~ 15 "
イボガレイ	"	10 ~ 25 "
カツオ	"	4 ~ 20 "
イカ	"	10 ~ 22 "
アジ	"	4 ~ 16 "
イワシ	"	3 ~ 16 "
ボラ	"	6 ~ 20 "
イガイ(むきみ)	"	10 ~ 15 "
牛乳		3 ~ 4 "
チーズ	1キロ	20 ~ 24 "
ヨーグルト	200グラム	1.00 "
煙草(フィルター付)	1箱	5.50 "
ビール	1本	2.50 "
ラク(トルコ産焼酒)	"	
ブドウ酒	1瓶	7 ~ 8.20 "

食料品は年10%程度の値上りが見込まれる。(1971年度は50%の値上りがあった)

なお購入にあたっては次のことに注意すること。

現地人は衛生観念が低い上に、品物の良、不良の選別もなく、一山いくらの商法であるため自分自身で品質を選別し、数量も明確にする。

(イ) 外 食

多くの場合中華料理店が利用されるが、トルコ食になじまない限り全く不便である。価格は一食分中華料理50 L.T.、トルコ料理30～40 L.T.。

(ロ) そ の 他

日本茶は当地では輸入禁制品になっているが、税関では少量の場合は原則として調べない場合が多いので、滞在期間中必要な分量は必ず持参して、小出しに使用することをすすめる。アンカラでは蠅節は乾燥が過ぎて削器で削った場合全部粉末になってしまうので別のダンを用意すると良い。

3. 衣類、日用品

(イ) 衣料事情

① 一般的衣料事情

当地は綿製品は多いが、その加工品については日本人向きでない。(特に下着類は日本人の体に合うものがない) ウール製品、シルク製品等も出廻っているが、品質は日本製品に比べて劣る。

② 必要とする衣類

イスタンブールではまったく日本（東京）の四季に合ったものを着用している。

アンカラは仙台もしくは青森と大体同じ。

公式用については、黒または濃紺の背広夏冬各一着と無地のネクタイで間に合う。

特別公式用の服装（礼服）は必要ない。

婦人の場合シルクのスーツを夏冬用各一着準備すれば充分である。

なお女性の和服の携行をすすめる。

③ 携行すべきもの

一般に洋服等は生地、仕立ともまあまあであるが（価格はいくらか安価である）、日本人の体にピッタリとあうように仕立てもらうことはいくら注文しても彼等には無理である。従ってほんとうに自分に満足のゆく服をと思うならば日本より携行すること。下着も同様である。

(四) 日用品

殆んど現地で購入可能である。（価格は10～20%程高い）
婦人用化粧品あるいは男子用ボマード等は現地調達困難であるので日本から持参した方がよい。

4. 使用人

① 職業紹介所

有り。あまり利用されていない。

② 具体的雇用方法

知人、友人等を通じて紹介してもらおう。

この方が問題等が起きた場合、なかに入ってもらえるので都合が良い。

③ 給与月額

コック 1,000～1,500 L.T./月

住込女中(スズメツチェ) "

運転手 "

小使, 雑役(ヤルドンヂ) "

子守(ヤルドンヂック) 600～800 L.T./月

洗濯女 50～60 L.T./日

庭師 50～100 L.T./日

カブヂュ 各アパートに使用される常備人で、アパートの一切の世話をするのみならず、住人のために買物、ごみ捨等、婦女子の仕事の範囲外の事をやってくれるので甚だ便利である。これに各人月額50～70 L.T. 支給している。

④ 最低必要とする使用人

普通専門家は、洗濯女とカブヂュで充分であるが、必要に応じて子守等を雇っている。

⑤ 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項

雇用に際しては使用人と特別の関係にある人を保証人に立てると、代りの人を雇う時等責任をもって捜してもらえるので何かと便利である。

雇用にあたっては賃金、労働時間をはっきりさせた上、契約書を取り交す。

なお日本人の場合使用人に好意をもって物を与えるが、これが習慣になり常に何かを期待するようになるため、極力避けた方が良い。

解雇にあたっては少なくとも1カ月前に知らせる必要がある。

5. 医 療

(1) 医療事情

① 医療施設

イスタンブールあるいはアンカラには大学の附属病院があり、施設も一流であると云えよう。

また労働組合、海員組合等の病院も相当立派な施設を備えている。その他アメリカン病院、個人病院等も利用できる。その他アメリカン病院、個人病院等も利用できる。ただし、癌、血管系の病気についてはそれ程研究、治療は進んでないようである。

また各省庁毎に附属の医師がいる。

② 日本人医師の有無

常勤の日本人医師はいないが、ベイルートに駐在の日本人医師が3カ月に一回の割で巡回してくるのでその時診療してもらうことができる。

③ 出産についての安全性

イスタンブールに於ては施設も整っており安全である。今までに多くの日本人が経験している。

(四) 医薬品

普通現地製の医薬品で充分間にあうが、次のようなものは日本から持参する方が望ましい。

外用薬 — オキシフル、止血ガーゼ

内服薬 — 高級風邪薬、胃腸薬

栄養剤 — アリナミン、その他

薬用脱脂綿、眼薬

(五) 疾病の種類

① 風土病的なもの

特にないがリュウマチ等は其の一つであろう。

② 日本出発前に特に予防注射をしておくべきもの

種痘、チブス、コレラ

(六) 健康管理上の注意事項

- 当国人は一般に不潔、非衛生であるので、伝染病、特にコレラの発生率が高いので注意を要する。
- 原則として水道水をそのまま飲用しないこと。
- 居住地区の選定に留意すること。
- イスタンブールはそれ程でもないが、内陸黒海沿岸地方は急に冷え込んだりするので、リュウマチ等の病気に罹ることが多いから遠出をする時などには夏期でも必ずセーター等持参することが肝要である。
- 温泉が各所にあり、まあまあの設備で安価に利用できるので、休暇を利用して少なくとも年15日間程度の温泉療養をすすめる。

現地人もこれを励行しており効果もあるようである。

6. 子弟の教育機関

(1) 教育制度の概要

① 文部省所轄

小学校(義務教育)	(6～10才)	5年
中学校	(11～13才)	3年
高等学校	(14～16才)	"
実業学校(農工商)	(")	"
師範学校(給費制有)	(14～17才)	4年
"	(18～20才)	3年
教育大学(給費制有)		3～4年
(高校、実業、師範学校卒業者)		

上記学校は教育者養成のため授業料は無料である。なお給費を受けた者は卒業後就業義務がある。

② 国立大学(文部省より独立し、予算も別立てである)

Istanbul Technical University

土木、鉱物、建築、機械、化学 5年

Istanbul University

文学、理学、法学、経済、森林、薬学 4年

歯学 5年

医学 6年

Ankara University

文学、理学、法学、経済、森林、薬学、教育 4年

神学、獣医学 5年

医学 6年

Middle East University (ankara)

文理、行政、工学、建築

予科1年

Aeg University (Ismil)

医学、農学、理学

Atatvrk University (Ereurum)

理工学部

上記国立大学は1971～72年度にかけて学制改革中なので
詳細については、多少の変更があるものと思われる。

なお国立大学は現在までは授業料は無料であったが今後はあ
りうる。

(四) 通常専門家の子弟が利用している教育機関(高等学校)

学 校 名	Elementary (授業年)	Junior (授業年)	Senior (授業年)	授 業 料	スクールバス	宿 舎
Robert College (男・子)	1	/	3	4,500 L.T	/	有
" (男・女)	(注1)		/	900米ドル	有	/
アメリカ系高等学校 (女・子)	1	3	3	13,500 L.T	有	有
イギリス系高等学校 (男・子)	2	3	3	5,500 L.T	/	/
" (女・子)	2	3	(注2)		/	/
フランス系高等学校(注3)	2	3	3	2,750 L.T	/	有
ドイツ系 "	2	3	3	2,500 "	有	/
イタリア系 "	1・2	3	4	2,400 " 3,000 "	有	4,500 L.T

注1 これはアメリカ人の小・中等学年を対象にしたものであるが、日本人の子弟でも英語のできる者は利用できる。幼稚園コースも有る。

注2 Seniorのみ男女共学。

注3 イスタンブールに6校ある。

なお上記 Robert College には4年制大学もある。

工学部 ----- 機 械

電 機

土 木

化 学

経済学部

理工学部 ---- 数 学

薬 学

化 学

7. 娯楽施設

(イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

<保養地>

各地に温泉、海水浴、観光等のための保養地があるが、日本人が考えるレジャーのためというよりは健康回復のために利用される場合が多い。たとえば温泉地で最低15日間程逗留し、1カ年間の疲労をいやし、次の年に備える。

<ゴルフ、映画等>

ゴルフ場はイスタンブールとアンカラに各1カ所あり、日本人が多く利用している。

ボーリング場は1カ所、映画館は多数ある。

またスキー場も有り利用されている。

(ロ) 通常の余暇の過ごし方

都市では古蹟の探勝、ゴルフ、水泳(夏)、釣(夏・冬)、マージャン、カード等である。

(ハ) 日本人クラブ等

日本人クラブはないが、領事館が色々アレンジしてくれる。

8. 電力

一般家庭用 220V, 110V 50Cycle 単相

動力用 220V 3相

一般家庭用の場合、同じイスタンブール市内でも地域によっては220V, 110Vの両方があるので、家を移転する場合にとまどうことがしばしばある。

9. 交 通

(1) 交通事情

① 一般交通機関

国内航空、長距離バス、鉄道等によって国内、外主要都市間はスムーズに連絡されているが、国内航空、鉄道の場合運行に正確を欠く嫌がある。

長距離バスは回数も多く、時間も割合に正確であるので利用者が多い。ただし冬季降雪のため時々事故が発生したり、運行できなくなることもある。

市内交通機関としては大型バスの運行とドルムシュ(Dolmus)と呼ばれる乗合自動車があり、格安でお客の指定する場所で発着できるので便利である。

この他、タクシー、乗用車が利用されている。

② 道路事情

各都市間を結ぶ幹線道路は殆んど舗装されており、支線でもかなり整備されている。奥地の道路でも車は大体通れる。ただイスタンブール市内は大部分が坂道であるため冬季降雪時や寒い時は運転困難になることもある。

③ 特に注意すべき交通法規

右側通行である。

交通法規はあるが、実際は無きに等しく、事故等の場合には泣き寝入りになるケースが殆んどである。

④ 交通事故の取扱い

事故がおきた場合は必ず警察に届け出て処置すること。被

害を蒙っても解決までに時間がかかり、その上賠償額も非常に少ないので事故には充分気をつける。

⑤ 事故補償

二種がある。

1) Obligatory Transportation Insurance for Men

保険料 155 L.T./年。事故があった場合最高
4,000 L.T. まで補償してくれる。

2) Casco Insurance for Damage (種々の事故に適用)

車の種類によって保険料は異なる。

補償を外貨で受けるためには保険料は外貨で払込んで
おく方が得策である。

死亡した場合の補償は死亡した者の社会的地位、身分、
年齢等によって異なるが、すべて警察で査定する。

(四) タクシー、ハイヤーの利用、料金

主要都市においてはタクシー、ハイヤー共利用されている。

① タクシー

1.50～2.00 L.T./キロ 位であるが、実際にはメーターが
あっても使用されていないのが現状で乗車時に料金を決め
ている。

なおトルコ語で料金をきくと割合適正な料金を要求するが、
外国語を使用した場合には法外な料金を要求されるので一
応知っておくと良い。

② ハイヤー

ハイヤーサービスはかなり行届いている。

一定の駐車場等があってそこに電話すると即時にきてくれるし、また一定の所からベルを鳴せばきてくれるというサービスもある。

料金 250～300 L.T./日

㊦) 自動車購入

① 購入方法、融資方法

日本から購入した場合、アフターサービスがない、運賃がかさむ、到着までに時間がかかる等不利な点があるので現地購入の方が有利である。

トルコ製の自動車には次の二種類がある。何れも購入の際物品税 6,000 L.T.をとられる。(専門家にも物品税免除は認められてない)

ア ナ ド ー ル	48,000 L.T.
ムテウト(フィヤット)	68,000 "

② 免税輸入特権

専門家が外国から車を輸入する場合、免税特権があるがスペアパーツにはない。

③ 帰国時の売却方法、課税

当国中央政府の許可を得た上で売却申請を提出することになっているが、輸入免税車の場合は Temporary Intory のままで本人使用期間中は免税されているが、売却する場合は先ず輸入税を支払った上で、正式な輸入手続きを取り、更に売却の手続を取らなければならないので、実際問題として出国時の売却は困難であるため、多くは帰国する時に

持帰っているのが現状である。

(二) 運転免許

① 国際免許の有効性

有効である。(1カ年毎に更新)

イスタンブール市の場合には、Istanbul Automobil Club
で手続きをしてもらえる。

但し本国の免許の有効期間内では毎年書替えることができ
るが、途中で有効期限が切れる場合には本国に有効期間延
長を申請して書替えをしてもらわなければならない。

② 免許取得の方法、経費

イスタンブール市の場合は Istanbul Traffic Police で受
験し、合格すれば免許証を交付してくれる。

費用は諸手続料を含めて250～300 L.T.程である。

③ ガソリン代

ハイオクタン	1ℓ	2.00 L.T.
スタンダード	”	1.50 ”

10. 為 替

(イ) 相 場

公 定 (売 り) 1米ドル = 1 5.1 5 L.T.

(買 い) ” = 1 4.8 5 ”

実 勢 公定とあまり変わらない。

(ロ) 滞在費等受取方法

当国には東京銀行の支店がないので、日本からの送金は現地
の銀行に各自口座を開設し東京銀行より振込んでもらう。振

込まれると現地銀行から各専門家宛に送金通知がくるからこれにより受領する。

口座を開設する場合には、次のことに留意すること。

開設する際の契約に専門家に送金されてきた米ドルはトルコリラに換金せず、そのままKeep しておくという条件を附しておくが良い。

こうしておく専門家は必要に応じて送金またはトルコ以外の国で使用する時のドルを確保しておくことができる。

トルコ銀行は常にドルが不足気味であるため、専門家が必要な時にドルを望んでもすぐに入手することは困難な現状である。

11. 出入国管理

(1) 税関検査

① 一般事情

当国は極度に外国品輸入を制限しているため入国時の携帯品の検査は厳重である。

アンカラに比べイスタンブールの場合は、いくらかゆるやかであるが、一応調べられることを考えておいた方が無難である。

② 持込禁止品

国際的禁止品以外のものなら関税さえ支払えば通関できる。一般に課税額は品物を本国から持出す時に記載した金額と同額を要求されるが、これも税関吏のその時の気分次第と思われる。

- 1) 日本茶は禁制品であるので見つかった場合は没収される。
- 2) 専門家の技術指導に必要な機材は免税となるが、その手続きの複雑なこと等から早くてもトルコに到着してから1カ月以上たたないと入手できない。
- 3) 専門家の personal effects は6カ月以内に到着するようにし、長期滞在の証明書を所属官庁からもらって便宜を計ってもらう。それでもTemporary import とし、保証金を支払って帰国時に持帰らなければならぬ物もあって非常に不便である。

③ 入国に際しての注意事項

空港の passenger の通過には Green lamp と Red lamp との区別があるが、原則として Green lamp 側を通過すること。

④ 持出禁止品

国際的持出禁止品以外にも美術、骨董品（古代のカーペット等）等について出国の際、非常に厳しい検査がおこなわれる。専門家が使用していたカーペットその他の所持品を持出す場合には必ず税関で購入時の領収書の提示を求められ、その価格（トルコリラ）に相当する金額の公定換算書類の提示を求められることもある。

(四) 外人登録の有無

専門家はビザを必要としないが、赴任後3カ月以内に居住証明を取得しなければならない。これは専門家の所属先から外

務省に対して専門家が如何なる目的でトルコに赴任しているかを証明する書類で、これを添えて警察本署に申請することになっている。帰国時にこれは返還することになっている。

(イ) ビザの更hands続等

専門家が期間延長等する場合、居住証明も遅滞なく延長申請すること。

12. 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

① 住宅手当等の現金供与

支給されている例は稀である。

② 出張旅費、公用車の提供

公用出張旅費は支給されるが、その額は各省庁によって異なる上に物価高に比例して非常に少額である。

公用車の提供は一応は受けられることになっているが、余程強固に要求しないと不可能である。

③ その他

住宅が提供された例は未だない。

家具等についても各自専門家が取揃えることになるが、そのための時間と労力は並大抵ではない。

普通生活を軌道にのせるには2～5週間は必要である。

(ロ) カウンターパート、通訳

各専門家に1人のカウンターパート（通訳も兼ねられればなお良いが実際は無理）、通訳をつけることは不可欠であり、これなくしては指導効果を上げることは困難であるが現実

ほど遠い。

カウンターパート、通訳との会話は英語である。

(f) 免税特権

① 身廻り品

6 カ月以内に到着の身廻り品は必需品と認められ、課税額が多少考慮されるが、全く免除されるというわけではない。

② 酒、タバコ、食料品等

一切免税特権は認められていない。

(酒については当国は禁酒を建前としているくらいである)

コロンボ計画、中南米計画と異なり、以上のことにつき特典がない。

13. 通信、運輸

(i) 郵便事情

① 安全性、配達システム(各戸、P.O.Box等)

一応安全に配達されているようであるが、重要書類は書留にする方がより安全である。配達は戸別配達制である。

P.O.Boxも利用されている。

② 電報、電話サービス

一応良好と思われるが、緊急時、あるいは正確さの点で度々思わぬ障害が起る。しかし当国の電話サービスも日本に比べて便利な点もあるので充分研究の上、活用をすすめる。専門家の自宅に取付ける場合、正規のルートでは入手困難なため、闇のルートを利用することになるが、イスタンブールでは電話一本取付けるのに5,000~10,000 L.T. 位

かかることもある。

③ 手紙、電報の日本～現地間の所要日数

手紙 (Air mail)	5～7日
電報 (至急)	10時間位
“ (普通)	20～24時間

日本への電報料金は10.80 L.T./字

④ 主要地方都市との連絡方法

電話 (至急)	即時通話にちかい
電報 (“ ”)	3～5時間
“ (普通)	4～20時間

夜間 (P.M 8.00～A.M 8.00) は料金も半額となり即時に通じることが多い。

(四) 運送

① 陸送・海送業者の有無、料金

海送

イスタンブール～横浜 (未梱包) 53ドル/1m³ = 40 ft³

(梱包) 64.15ドル/1m³ = 40 ft³

② 家財送付上の手続、宛名、注意事項

家財を送付する場合、空・海共アナカンによるが、宛名は在トルコ日本大使館気付とすると間違いが少ない。

14. 言語

(イ) 公用語、英語その他第一外国語の普及度

外交用語は仏語であるが、近年英語がそれに代りつつある。

国内公用語はトルコ語である。

最近若年者の間で英語の使用がさかんになってきており、教育面でも英語の授業に力を入れてその普及を図っている。

またドイツへの出稼労働者の数が年々増加してきており、独語の伝播も著しい。

従って使用されている外国語は仏、英、独が同じくらいで、次いでギリシャ、伊、其の他の外国語となっている。

専門家の場合は英語を通用語としている。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

是非トルコ語を修得することが望ましい。

カタコトでも使用すれば現地の人達との間に親しみがわくものである。

(ハ) 語学々習の施設、受講時間等

イスタンブール、アンカラにはアメリカ人の文化施設等があり、トルコ語学習機関が設けられているが、実際問題として時間的に受講不可能であるので、普通自宅に家庭教師を呼んで学んでいる。

15. 気 候

砂漠に近い東部および内陸地方は大陸的であり気温の差も著しいが、海岸地方（地中海、黒海、エーゲ海）は温和な気候で、住心地も快適である。

服装も大体日本と同じものが着用されている。

イスタンブール市の気候

緯度が日本の青森と同じであるが、温暖な地中海と冷涼な黒海の影響を同時にうけている海洋性気候で夏、冬共温度の差

が少なく温和で、しかも夏は乾期、冬は雨期に大別されるのが特徴である。

服装も東京で使用されるもので事足りる。時たま急に黒海から底冷のする冷涼の風が吹くのでリュウマチに罹る例が非常に多い。そのためにセーター等常に身近かに用意しておくことが望ましい。

温度・雨量

	イスタンブール			ア ン カ ラ		
	1 月	7 月	8 月	1 月	7 月	8 月
最高温度	15.3°	34.4°	33.4°	12.0°	31.5°	37.0°
最低 "	-8.3°	15.6°	15.9°	12.4°	9.7°	12.2°
平均 "	4.6°	23.6°	24.3°	11.1°	21.8°	22.7°
雨 量	118.4 ^{mm}	2.8 ^{mm}	0.0 ^{mm}	37.8 ^{mm}	7.1 ^{mm}	6.0 ^{mm}

16. 治 安

(イ) 一般情勢

当国の治安は一般に安定しているといえる。一般民衆は日本の産業、経済の急速な発展に驚ろく以上にトルコの仇敵ロシアを打負かした国というところから日本人に対して親愛感情（尊敬とは違う）を抱いているように思われる。

特に近年日本の経済援助が増えるにつれてその感が強くなってきた。

(ロ) 夜間外出上の注意

婦女子の一人歩き、特に夜間は避けた方が良い。夜間外出中

に思わぬ事故に遇った例が非常に多い。

また、戒厳令、非常時態宣言等で禁止令が布かれることがしばしばある。

- (イ) 緊急時における大使館または駐在員との連絡方法、集合場所および要領

専門家は領事館（イスタンブール）に電話連絡をとる。

集合場所は別に決定してない。

17. その他

- (イ) 対日感情、現地人氣質

対日感情は良い。

現地人氣質は誠に複雑である。一口にいえば、栄光あるオスマン大帝国（1299－1922年）の歴史を背景にもつ優越感と現代の後進性からくる劣等感とが同居しているといえる。

個人的な交際の範囲内では誠に気前のよい大人であるが、こと公的な場所あるいはビジネスに関しては全く理屈の通らない子供と同じであり始末が悪い。要するに責任のがれに終始する。相当の階級の人でも約束は平気で破り、時間は守らず、嘘を平気につくというようなことが普通である。其の上彼等の態度が相手を平然と見下ろしているように感じられるというのが、各国から派遣されてきている専門家が見た一致した意見である。

- (ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法

新聞・雑誌の海外購読者を対象に専門業とする海外新聞普

及俣（東京都港区芝浦2-9 電話453-8311）に希望する新聞、雑誌を予約する。

・ ○新聞（朝日、読売、毎日）

Air Mail（5～7日） 16,580円/月

Sie "（1～2ヵ月） 2,500円/月

○週刊誌類 " 655円/冊

" " 165円/冊

○文芸春秋等厚手のもの " 1,230円/冊

" " 265円/冊

② 日本雑誌等の販売店の有無

なし。

い 風俗・習慣

① 特に禁じられている風習、チップ等

飲 酒 — 宗教家の間では禁じられているが、一般の人々は自由であるにもかかわらず、宗教的影響が強いせいか酒場は少ない。

街中で酔人を見うけることは稀である。

喫 煙 — 喫煙家は非常に多く、小学生の間でも常習者がいるくらいである。

食 事 — 朝・昼食時間はまちまちであるが、夕食は遅く大抵8時頃である。主食はパンで、肉はマトンを主にし、野菜等をオリーブ油で長時間煮つめた料理が主なので日本人にはなかなか馴染めない。飲料はトルコ茶に砂糖を入れて常用する。

チップ — ホテル等では料金の中に加えられているが、別に適当なチップを与えると良い。

ラマダン(昼間断食)

1年に1カ月間日の出より日没まで断食する習慣がある。

これは宗教(イスラム教)からくるもので、アタチュルク以前は強制的な行事であったが、現在は自由であるが、全国的に行なわれている。

この期間中富者は貧者に恵みを施すことになっているが、その額は収入の40分の1くらいとのことである。

(二) 理髪店・美容院、クリーニング店

理髪・美容院はあるが、いずれも非衛生的である。

理 髪 : 一 般	散 髪	4.00 ~ 5.00 L.T
	シェービング	2.00 ~ 3.00 "
ホ テ ル	散 髪	17.00 "
	シェービング	11.00 "
美 容 : 一 般	パーマ	35.00 "
	セット	15.00 "
	サービス料	5.00 ~ 10.00 "
ホ テ ル	セット(洗髪を含)	50.00 "

クリーニング店

イスタンブール市内では日本と同程度の仕上げを期待できる。

㈣ 買 物

① 店の規模

・イスタンブールには百貨店形式のものはない。常設食料品マーケット、バザー、臨時露天バザー（週に一回開かれる）個人商店等がある。

< グランドバザー >

・イスタンブールには世界的に名高いグランドバザーがあって、食料品を除く衣服、装身具、特に宝石等のインターナショナルバザーである。価格も安価であり、近隣諸国はもとより、西欧あるいは世界各国からの買物客で賑わう。かつて三大陸にまたがる大帝国、オスマン大帝国時代の面影を偲ばれる程の盛大かつ歴史的なものである。

② 値 引

トルコ人、アラブ人等は買物をするときに値引させることを楽しんでいるかのように見うけられる。

従ってショッピングの場合にはゆっくりと時間をかけ、品物を充分吟味し値引の交渉をするのも良い。

時には100%の値引をしてくれることもある。

㈤ 今後赴任される専門家に望むこと

① 相手を知ること

○トルコはかつては永年にわたり三大陸にまたがる大帝国を形成していたという優越感と、一応開花した西欧化が途中で硬直し、今日開発途上国の位置にあるという劣等感の両面をもっている。

- トルコは一応西欧の文化圏であるので専門家はこれにあった指導方法をとるよう心掛けること。
- コロボ計画地域と異り、日本政府との間に技術協力に関する細かな契約が交されていないということ。
- 赴任される専門家は余り高邁な理想をもちすぎないようにかつ、気負すぎにならないよう心掛けることが必要である。トルコ政府が専門家の意見を取り入れなかったり、約束等を守らないことは再三あるが、専門家は努めて自分をコントロールし、常に縁の下の力持ちであるという諦観をもつぐらいが良い。一般にトルコ側は日本の援助は当然であり、かつ専門家のサービスに対しても感謝の念はあまり感じないようである。
- 専門家の意見（トルコ側はそのプロジェクトについて殆んど無智であっても）を全面的に受け入れようとしない場合が多い。
- 権利は充分主張するが、義務や約束事は殆んど履行しない。
- 他人の立場を考えず、自分のことしか考えない。

② 業務遂行前に

税関から始まり、各官庁の仕事（paper work）が非常にスローであり、その手続が複雑である。

例えば専門家の携行機材の入手が甚しく遅れ、トルコ到着後でも諸手続のため2カ月以上は要する。途中の3～4カ月を入れて実に入手するまでに6カ月以上の期間を考えあわせておく必要がある。

配属後業務を開始する前に次のことを先ずきめておくこと。

- 専門家の職務上の地位、任務の範囲、責任、対人関係を明らかにし、トルコ側にもこれを明確にさせておく。
- カウンターパート、通訳、アシスタント、タイピスト等の専任者をはっきりさせておき、勤務時間、仕事の範囲をきめておく。
- 専門家の仕事に対するトルコ側の全責任者を必ず決めておく。

③ 業務遂行にあたって

定期会合の時期、方法、出席者、場所、議事録の設定。

会合は必ず励行し、決定事項は自動的にこれをトルコ側にも励行させる。

これによって専門家の業務の進捗が円滑にゆくのみならず、トルコ側のスローモーは勿論、違約等を自覚させ、将来のために役立たせる。テープレコーダーを使用することも一法である。

これらはトルコ側に対して公務遂行上の最低限の交渉事項である。

④ 生活面

住居選定

- セントラルヒーティングを完備しているアパートを選ぶ。
- 専用または共用の水槽（充分余裕のある）を有するアパートを選ぶ。
- 契約に際して契約書を熟読し、専門家に有利な条件で契

約を交すこと。

ことが起きた時損失を蒙るのは専門家である。

○近隣の住人も一応調査しておくことも肝心である。

⑤ 家具購入

当国には、じゅうたん、その他大理石製品等、帰国時に日本に持帰ることのできる家具類が割合に多いので、赴任中のみ使用することにこだわらず、そういうことも考慮して購入すると良い。

⑥ その他

○当国は地震国であるが、日本の地震学者によればイスタンブール市は第二級地震帯であるが地盤が非常に強固なので心配ないそうである。またアンカラは地震帯に含まれていない。

○当国は都市部においては女尊男卑であり、村落部はその反対である。これが極端に対立している。

また男性は女性の前で恥しめを受けた場合は命を賭けても闘うというような心意気がある。

○立小便をしているところは見たことがない。この点、我等日本人は肝に銘じておくべきである。

○現地婦女子（特に田舎においては）を写真に撮る場合は当人は勿論のこと、父兄等の許可をえた上で撮るようにする。

○覚えたトルコ語はできるだけ使うように心掛けること。これによって彼等の優越感をくすぐり、仕事等スムーズに運ぶことが多い。

- トルコ人は、人格、能力において千差万別であるので専門家に関係する人達はできるだけ優秀な人材を得るようにすること。

Ⅱ 同国に対する我国の技術協力実績

昭和46年3月31日現在

区分 形態	農	建	鉱	運	通	厚	行	そ	累 計 (人)	経 費	
	水 産	設	工 業	輸	信	生	政	他		(千円)	(千米ドル)
研修員受入	27	33	48	9	24	7	14	24	186	123,198	342
専門家派遣	12	7	8				1		28	126,719	352
開 発 調 査	名 称	調 査 内 容				期 間		団員数		12608	35
	ダラマン河電 源開発計画調 査	流域における貯水池発 電所建設計画に必要な 資料収集及び予備設計				40.3 / 40.6		6			
	ケルキットカ ラタシュ電源 開発計画調査	同国北部黒海側のYa- sirak 河支流ケルキッ ト河に2つの貯水池、 発電所建設の水分、地 形、地質等の調査				43.7 / 43.9		6		14822	40
	ハルソット河キュ ルンチュン・セイ ハン河ベルケ両 地点電源開発 調査	北部黒海岸のHarsit 河 Kurtun 電源開発につ いて流域の基本計画策 定のための現地調査				44.3.1 / 44.3.31		6			
	機材名	供与先機関				年 度		数 量		790	3
	魚群探知機	肉 魚 公 団				42		1 式			

Ⅲ 大使館等連絡先

大 使 館

住 所

Ambassade du Japon ,
Gazi Osman pasa Mah.,
Resit Galip Caddesi , No. 81,
Ankara, TURQUIE
(P.O.Box P.K. 31)

電 話

12 - 31 - 60 , 12 - 31 - 61

